

慶應イノベーション・イニシアティブ1号ファンド設立のお知らせ

慶應義塾大学のベンチャーキャピタル「慶應イノベーション・イニシアティブ」(通称:KII、代表取締役社長 山岸広太郎)は、7月1日に慶應義塾大学の研究成果を活用したベンチャー企業に投資を行うベンチャーキャピタルファンドを設立いたしました。

KIIでは、昨年12月の設立以降、ファンドの運用体制を構築し、1号ファンドへの出資者を募集してきました。日本の成長戦略において大学発・技術系ベンチャーへの期待が高まっていることに加え、慶應義塾大学の研究成果に対する高い評価もあり、金融機関・機関投資家、事業会社・コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)、起業家などからお申し込みをいただき、ファンド総額は約45億円となりました。

KIIの代表取締役社長である山岸広太郎は次のように述べています。

「今回、慶應義塾大学の研究成果を活用した技術系ベンチャーの育成に強い関心を持つ、20の法人・個人からご出資をいただくことで、慶應義塾大学として初めてのベンチャーキャピタルファンドを組成することができました。KII1号ファンドでは、IT融合領域、デジタルヘルス、バイオインフォマティクス、再生医療の4分野を中心に、慶應義塾大学の研究成果を活用し、社会的に大きなインパクトを生み出すベンチャー企業約20社に投資を行う予定です。KIIではベンチャー企業の育成を通じて、大学の研究成果の社会実装による新産業の創出を推進し、社会貢献と投資事業としての収益の両方を追求していきます」

<KII1号ファンドへの出資者(有限責任組合員)>

金融機関 機関投資家	三井住友銀行、第一生命保険、みずほ証券プリンシパルインベストメント みずほ銀行、スルガ銀行、極東証券、東邦銀行、三井住友信託銀行 三菱UFJキャピタル
事業会社 CVC等	グリー、公共建物、東急不動産ホールディングス TBSイノベーション・パートナーズ、Mistletoe、他1社
起業家	千葉功太郎、他1名
KII関係者	慶應義塾、野村ホールディングス、山岸広太郎

<KII1号ファンドの概要>

名称	慶應イノベーション・イニシアティブ1号投資事業有限責任組合 Keio Innovation Initiative 1, LPS
投資対象	慶應義塾大学の研究成果を活用したベンチャー企業
ファンド総額	約45億円
運用期間	2016年7月1日より10年間(最大2年の延長可能性あり)

<KIIの概要>

商号	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ Keio Innovation Initiative, Inc.
事業内容	慶應義塾大学の研究成果を活用した大学発・技術系ベンチャー企業の育成。ベンチャーキャピタルファンドの運営。
資本金等	1億円(資本準備金5000万円を含む)
株主	株式会社慶應学術事業会、野村ホールディング株式会社
代表者	代表取締役社長 山岸広太郎
URL	http://www.keio-innovation.co.jp

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 広報担当

E-mail: pr@keio-innovation.co.jp

TEL: 03-6435-0945